

エア・リキード、日本における半導体大手の生産能力 拡張支援に1億7,000万ユーロ超を投資

エア・リキードは、日本における大手半導体メーカーへの超高純度ガス供給に向け、1億7,000万ユーロを超える新たな投資を行います。長期契約に基づき、同グループは顧客が進める既存ロジックチップ製造工場の増強を支援します。今回のパートナーシップの更新は、急速に進化する人工知能（AI）やハイパフォーマンス・コンピューティング（HPC）市場に不可欠な先端半導体製造において、エア・リキードの確かな支援能力に厚い信頼が寄せられていることを示すものです。

エア・リキードは、大規模なバックアップ貯蔵設備を含む複数の製造ユニットを建設、自社プラントとして運営し、超高純度窒素、酸素、アルゴン、水素を大量供給します。これらのガスは、最先端チップの製造に求められる極めて高い清浄度と安定した環境を確保する上で欠かせないものです。

エア・リキードは40年以上にわたり、日本のエレクトロニクス分野において確固たる実績と専門知識を培ってきました。大規模な産業投資を牽引する日本南部の主要半導体拠点における本プロジェクトは、日本、さらにはアジア市場全体において、半導体産業を支える主要パートナーとしての地位を揺るぎないものにします。生産能力の拡張を加速する半導体大手メーカーから再び信頼を獲得したことは、エア・リキードの高度な技術力と、世界的なAI革命に貢献する強いコミットメントを裏付けています。

エア・リキード、アジア太平洋担当グループバイスプレジデント ロニー・チャルマーズのコメント：「先端チップ大手の事業拡張を支える日本での新たな投資は、エア・リキードの革新的な産業ソリューションに対するお客様の厚い信頼を示すものです。エア・リキードは半導体エコシステムにおける中核パートナーであり、当社のソリューションは急成長を遂げるAI技術セクターの骨幹を成しています。日本の半導体産業の持続的な成長を支援できることを誇りに思うとともに、そのさらなる発展に向けて今後も全力を尽くしてまいります。」

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

ww-aljcommunications@airliquide.com

03-6414-6728

エア・リキードについて

酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の核となってきました。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界59カ国で約65,000人の従業員を擁し、430万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。2025年度の売上高は約270億ユーロに達し、エア・リキードは強固なパフォーマンスと価値ある成長を両立させています。

エア・リキードは、多角化された強靱なビジネスモデルと世界各地に根ざした強固な現地拠点を有するリーディングカンパニーです。高度なエンジニアリングの専門知識と技術革新を通じて、産業効率の向上、脱炭素化の加速、そしてバリューチェーンの強化を実現する拡張性の高いソリューションを提供しています。成長市場やメガトレンドに戦略的に注力し、長期的な付加価値を創造し、持続可能な未来を築くために、エア・リキードは、主要な産業・社会の変革に寄り添い、共に歩んでまいります。

エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、Dow Jones Best-in-Class Europe Indexの構成銘柄です。